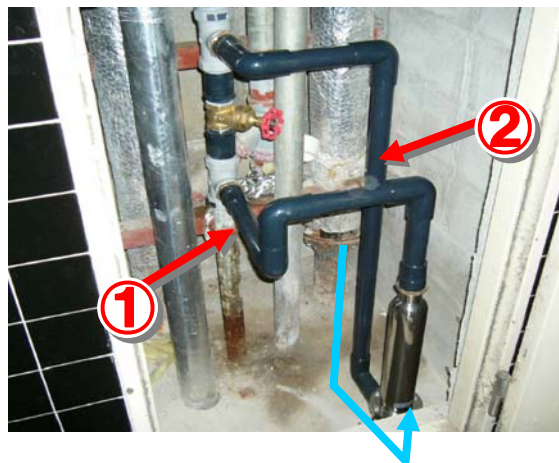


設置

① 流入先

エルセ内部を通過した水が、配管に流入されます。

内部のセラミック粒は、硬度が強いため、摩滅しません。



② 流入元

配管の途中を切断し、エルセ活水器に接続します。

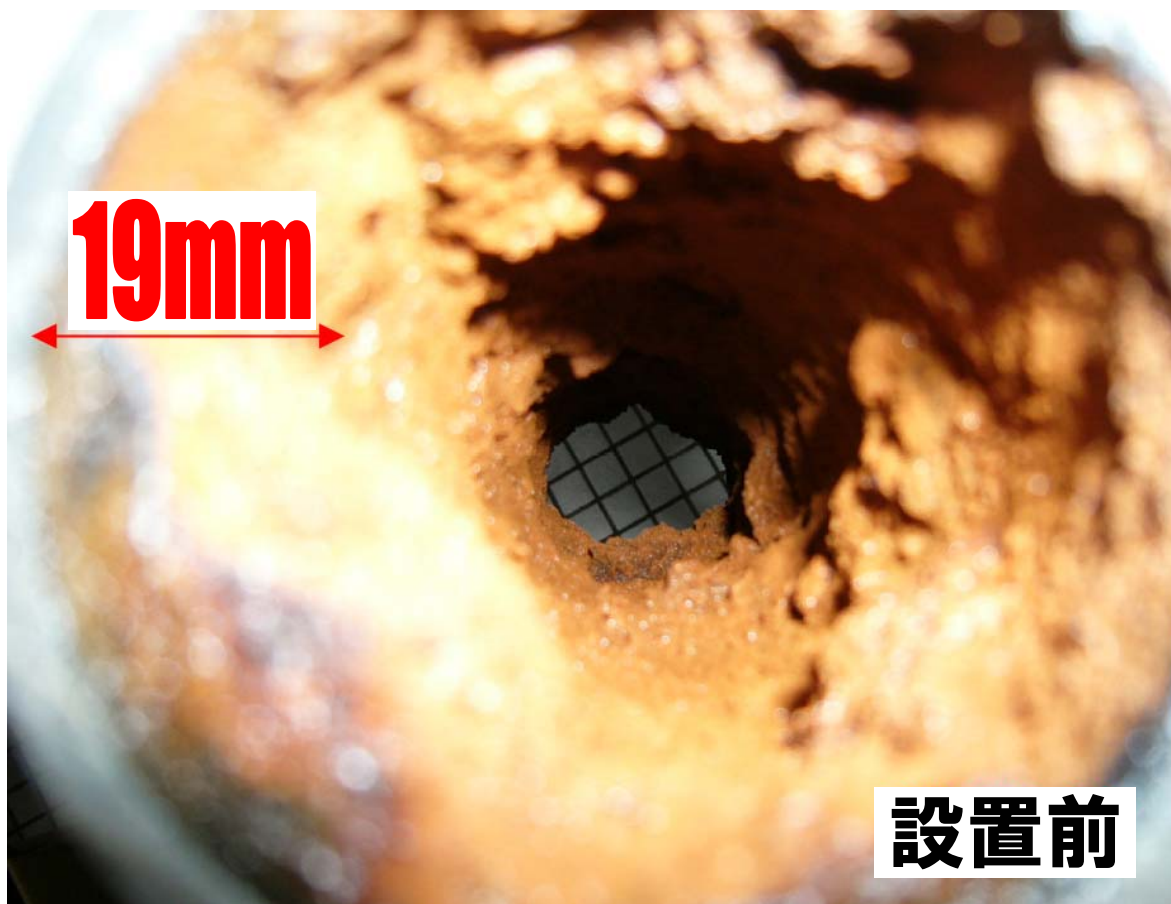
水は器内を下から上へ向けて流れます。これによりセラミック粒が対流・衝突します。

国立大学医学部内

エルセ検証

設置:平成18年2月9日 検証:平成18年9月20日

日本治水株式会社



平成 18 年 2 月、九州の国立大学医学部内の設備に、エルセを設置しました。

設置前、配管内のサビ（スケール）は 19mm の厚さに達し、閉塞状態になっていました。こうした配管の詰まりによって、漏水などの事故が起こります。また、サビがさらに進行すると配管そのものに穴を開けることもあります。

エルセを設置して 7 ヶ月後の同年 9 月、配管内のサビの除去具合を検証しました。

エルセを通過した水は、物理的に構造化されるため、サビなどのスケールに浸透し、除去・流出させます。このため、サビが少しずつ剥離します。この配管では、19mm から 7mm まで減少しました。

劇的なこの効果も、エルセならではの、水の通るところ全てにエルセの効果が期待できます。

エルセ 日本治水株式会社（宮崎県）の開発した活水処理器。実績：JR 新幹線、宮崎国際空港、広島バスセンターなど多数

